



みんなで作ろう プロジェクト



誰もが住み慣れた場所で、
安心して暮らし続けることができる。
そんな地域をつくるため、大町市内で暮らす
さまざまなみなさんをつなぎ、考え、
そして共に地域を動かすプロジェクトです。

誰もが住み慣れた場所で、
安心して暮らし続けることができる。
そんな地域をつくるため、
大町市内で暮らすさまざまなみなさんと
つながり、考え、
そして共に地域を動かすプロジェクトです。

2025.5.14

はじまり



私たちは、
誰もが住みなれた場所で、安心して暮らし続けることができる地域をつくるために、
地域で暮らす皆さんと気軽に話し合い、考えを伝え合う

“みんなで考えようプロジェクト”を
令和5年9月からスタートさせました。



この地域に必要なだと考えられるものとして、参加者の声の中からあがってきた、

「おせっかいのし合えるまちづくり」

「ちょっとした要望にも応えてくれる応援隊」

「融通の利く移動支援」 「昼でも夜でも誰とでも交流できる集いの場」

というキーワードをもとに、実証実験として「夜の集いの場」を開催しました。



2024-25



実証実験を経て、令和6年度は「生活に必要な移動」に焦点を当て、まずは市民バスふれあい号（以下：「市民バス」）を身近なものとして活用するためのグループワークを実施しました。

そして、運転ができなくても困らない、市民バスを駆使した移動方法をみんなで徹底検証するため、フィールドワークとして、「バスハイク」（市民バスの乗車利用体験）の企画をし、実施しました。



“バスハイク”には、市民バスを初めて利用する人から、日常的に市民バスを利用し、市民バスの運行に合わせたを確立している人の参加もあり、このフィールドワークを実施したからこそ見えてきた視点、気づきがたくさんありました。



R7.3.7市民バス「ふれあい号」への提言提出

2025.3.17 ふりかえり



この地域(おおまち)で実現したいこと

移動支援プロジェクト

- ・買い物や通院だけの移動支援ではなく、イベントや各種教室、季節の風物詩(お花見)など、幸せにつながる移動支援 ⑥
- ・市民バスの利用促進プロジェクト⑥
(デマンドコースの見直し、バスハイクの企画など)
- ・高齢者以外の移動支援も検討 ②
- ・ありがとうプラチナサービス(向井さん)



多世代コミュニティセンターづくりプロジェクト

- ・孤立している子育てママと孤独な高齢者が集える場所 ①
- ・高齢者の見守り付き長期休暇中の子どもの居場所 ⑤
- ・何でも相談窓口の設置 ⑤
- ・多世代が交流できて、情報交換できる場所 ②③
- ・市民が集える公園や施設[東洋紡パーク(仮称)]の開発 ④
(運動・食事・サークル活動など様々なことができる施設にする)

多世代交流プロジェクト(世代間の支え合いの循環を作る)

- ・ニュースポーツ(ポッチャ、モルック等)の市民大会や、地区対抗の大会を開催 ②
- ・子どもの長期休暇に合わせて、世代を問わず参加できるワークショップ ②
- ・小中高生に地域にある様々なことを体験してもらう ②
- ・市民全員参加の盆踊りプロジェクト ②
- ・マイスター登録。その分野に強みを持つ住民を登録して、困っているときに助けてもらう②
- ・多世代の交流することで、相互に課題解決ができるようになると思う ③
- ・IRONNNA体験プロジェクト(子供の体験チャンスの保障と高齢者の活躍) ⑥

自分が楽しみながら

求められているものを実現するプロジェクト

- ・家の近くにまちの縁側づくり。ふらりと立ち寄れて、いろいろな人と交流ができる ⑦
- ・空き家、空き地、商店街を活用して、食堂や趣味の教室、体操教室などの場をつくり運営する④
- ・行政の市民サービスをあてにしないで、あったらいいなを自分で始めてみる ④
- ・地域通貨、地域ポイントの研究と活用 ④

大町の魅力づくりと魅力探し・発信プロジェクト

- ・移住したくなる魅力的な街づくり、人口を増やす、空き家をもっと住みやすく③
- ・在住者でも移住者でも、この地域で最期を迎えるつもりで暮らしているのだから、いい場所だと思える街にしたい③
 - ・空き家の貸し借りのマッチングアプリ⑥

地域の防災を考えるプロジェクト

- ・災害時の問題を考えたい。災害時の高齢者の避難方法を確認しておきたい。⑦
- ・小中高生と大町市の防災に関するワークショップの開催 ②
- ・自治会の連携強化 ⑦

商店街活性化プロジェクト

- ・中心市街地の空洞化した家屋を利用して集まるが所を作る②
- ・観光協会をもっと有効活用②
- ・空き店舗を中高生に活用してもらう②
- ・本通りで大きなイベントを開催する②

融通のきく助け合いの仕組みづくりプロジェクト

- ・手助けしてほしい人のニーズは色々だが、手伝いが欲しい時に来てもらえる助け合いの仕組みを作りたい⑥
- ・移住者でも大丈夫 ワンオペ応援プロジェクト⑥
- ・雪かき支援の問題解消⑤
- ・“雪”プロジェクト(雪下ろしボラ育成講座、除雪を応援・交代できる仕組みづくり) ⑥
- ・すき間時間を活用したヘルパー事業②

気軽に話をしましょう！

地域で暮らす
1人の住民として
参加しましょう

否定はせず
共感の気持ちで
持って話に耳を
傾けましょう

対話の時間は
みんなのもの
1人で話続け
ないようにしまし
ょう



そのひと言が
地域を動かす
何かにつながります
遠慮せず話しまし
ょう



みんなで考えよう
プロジェクト

ワーク ①

「おおまち」にある「にぎわい」

にぎわっている と感じる 場所 人 など

自由に出し合いましょう！

- “素敵なつながり” や “素敵な場所”
- 活発な関係性が現れる場所



みんなで考えよう
プロジェクト

ワーク ②

皆さんの持っている(思い描く)
「立つ瀬がある場」って何ですか？

窮屈に思わず・充足感がある
「場所」 や 「関係」 を出し合いましょう！



みんなであらう
プロジェクト

ワーク ③

今日の出会の中にある
「立つ瀬がある場」をつないでみましょう

今日の参加者の皆さんが思い描く「立つ瀬のある場」をつなげて「心配事」をなくせないか考えてみましょう！



みんなであらう
プロジェクト

ワーク ④

「立つ瀬がある場」の実現にむけて

実現するための企画を考えてみましょう！

できそうなら実証実験へ 

移動支援 プロジェクト

移動支援プロジェクトの参加希望アンケート回答の結果

⇒ 「参加希望」10名、「検討中」13名

参加を希望していただいた方を中心に、

この移動支援プロジェクトの話し合いを 5/23（金）に行います！詳細は事務局へお問合せください。

あづみ病院の送迎サービスも

明日始動します！

詳細は向井さんより。



みんなであらゆる プロジェクト

地域ケア会議

誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指して、医療と介護の専門職、福祉関係者と住民の皆さんが、顔の見える関係を作り、困りごとなどの情報を共有し、役割分担をしながら、困りごとの解決に向けた検討を行うため、「地域ケア会議」を開催しています。

「虹の家」の情報整理と意見交換会

日時：令和7年7月17日（木）

13時30分～

会場：大町市役所 西庁舎 西会議室

次回開催日程



候補日

7月14日(月)

7月24日(木)

7月15日(火)

7月29日(火)

7月22日(火)

7月30日(水)

7月23日(水)

7月31日(木)

開催時間 : 13時30分～15時30分